

尾瀬自然保護指導員ネットワークが誕生して早くも1年がたちました。この1年間、よちよち歩きながらも、充実した活動ができたのではないかと考えております。

1998年度も様々な活動を計画いたしております。それぞれの性格、力量に見合った活動もあると思いますので、ふるってご参加くださいますよう、お待ち申し上げます。

1997年度の活動内容並びに1998年度の活動予定については、2ページ以降をお読みください。

本来ならば定期総会を開催して幹事改選などを行うとともに、皆様のご意見、ご希望などを直接聞かせていただくべきところですが、時節柄、ネットワーク及び皆様の時間的、経済的負担を回避するため、2年に1回の開催にしたいと思っておりますので、ご了承ください。今後の活動などについて、ご意見、ご提案などを事務局までお寄せ下さい。

<連絡事項>

- (1) 本年度の会費(3,000円)の納入は、同封の郵便振替用紙で早めをお願いいたします。
- (2) 本会では尾瀬において活動中の事故に対して保証をする余裕がありませんので、1998年度より「スポーツ安全保険(別紙参照)」に加入することにしました。希望者は年会費振込時に年間保険料1,400円を添えて申し込んでください。なお、振替用紙の通信欄に「生年月日」「年齢」を明記してください。
- (3) 入山指導、調査活動などの参加者に宿泊費・交通費の一部を補助します。用紙を現地で配布しますから、経費明細書をリーダーに提出してください。ただし支払いは後日になります。マイカー利用者はガソリン代、有料道路通行料の領収書を必ず添付してください。領収書がない場合は、お支払いできませんので、ご了承ください。
- (4) 本年度の活動の一部である燧岳残雪期利用(山スキー)実態調査、ブナ平立木調査の案内を同封いたします。他の各活動参加希望申し込みについての案内は、担当幹事または事務局より別途送付いたします。活動予定の件についてのお問い合わせは担当幹事までお願いします。

尾瀬自然保護指導員ネットワーク

<1997年>

1997年度活動報告

- 1月12日 東京で準備委員会開催
- 27日 全修協 吉野業務部副部長、緑の地球防衛基金 中根事務局長を表敬訪問(高橋(喬)、椎名)
- 2月 1日 東京で準備委員会開催
- 3月 9日 東京で準備委員会開催
- 22日午前 尾瀬を守る会(大石武一会長)1997年第1回会合(高橋(喬)、武出席)
- 午後 尾瀬自然保護指導員ネットワーク設立総会(大宮ソニックシティ)。45名入会。
代表に高橋喬、事務局長に椎名宏子、幹事に永島勲、山本誠剛(群馬側)、磯部義孝、小野寺利夫(福島側)、本戸信男(全修協)、若松真、会計幹事に坂本敏子、会計監査に島上健、牛木一郎を選出
- 4月 5日 東京で入会案内の作成、発送(高橋(喬)、坂本、若松)
- 17日 全修協・吉野副部長と指導員派遣で打ち合わせ(高橋(喬))
- 19日 尾瀬を守る会第2回会合(高橋(喬)出席)
- 5月 1日 千葉で全修協、福島側入山者指導の会員宛案内(「尾瀬ネットワーク通信No.1」)を作成、発送(高橋(喬)、坂本、若松)
- 10日 東京で幹事会(高橋(喬)、小野寺(利)、坂本、椎名、永島、本戸、若松が出席)
- 12日 会津バス田島営業所所長を表敬訪問。御池～沼山峠間のバス添乗解説について合意(高橋(喬)、磯部。旧守る会の清野、八巻氏が同行)
- 6～10月 桐生市教育委員会が同市内12中学校を対象に企画した「尾瀬ふれあい体験事業」の事前学習に講師派遣(松村、田中)
- 6月13～ 福島側第1回入山指導(小野寺(利)(班長)、小野寺(典)、磯部、
- 15日 佐藤(信)、坂本、高橋(治)、高橋(喬)、武、松前、山本、若松の11名が参加)
- 7月11日 尾瀬を守る会第3回会合(高橋(喬)出席)
- 15日 (株)西原衛生工業所、(株)西原環境衛生研究所の協力によるリーフレット「尾瀬の自然」が完成
- 18～ 福島側第2回入山指導(若松(班長)、磯部、斉藤、坂本、島上、
- 21日 佐藤(信)、佐藤(英)、田中、藤田の8名参加)
- 24日 環境庁が至仏山東面直登ルート再開を前に、現地視察会を開催(本戸参加)。「再開に問題なし」と同庁
- 25～ 福島側第3回入山指導(武(班長)、牛木、小野寺(利)、小野寺(典)、
- 27日 鈴木、牧野、若松の7名参加)

-
- 7月27～ 全修協全国班など4班に指導員派遣(磯部、坂本、椎名、反町、
8月1日 高橋(喬)、角田、永島、本戸、松村、深山、若松が参加)
- 8月1～ 福島側第4回入山指導(磯部(班長)、斎藤、佐藤(信)、佐藤(英)、
3日 田中、山本、若松の7名参加)
- 8月8～ 第1回至仏山東面登山道利用実態調査(永島(担当幹事)、貝田、
9日 島上、清水、高橋(治)、高橋(喬)、田中、本戸、牧野、山田、若松
の11名が参加)
- 9月21日 奥利根自然センター室内研修講座(高橋(喬)、若松が出席)
26～ 福島側第5回入山指導・観察会(沼山峠～七入)(磯部(担当幹事)、
28日 小野寺(利)、小野寺(典)、坂本、斎藤の5名参加)
- 10月2～3日 全修協新潟班に指導員派遣(坂本、高橋(喬)、若松が参加)
18～ 第2回至仏山東面登山道利用実態調査(坂本、清水、高橋(喬)、
19日 武、若松が参加。読売新聞 市塚記者が同行)
21日 全修協 吉野副部長と1998年度の協力について面談(高橋(喬))。
- 11月4日 尾瀬を守る会第4回会合(高橋(喬)出席)
6日 全修協創立40周年記念祝賀会(高橋(喬)出席)
21日 尾瀬を守る会第5回会合(高橋(喬)出席)
29日 南浦和で幹事会(高橋(喬)、磯部、小野寺(利)、坂本、椎名、本戸、
若松が出席)
- <1998年>
- 2月26日 尾瀬を守る会1998年第1回会合(高橋(喬)出席)
28日 南浦和で幹事会。1998年度活動計画など検討(高橋(喬)、磯部、
坂本、椎名、永島、本戸、山本、若松、武(オブザーバー)が出席)
- 3月18日 福島市立御山小学校の自然保護学習に講師派遣(磯部)。6年生90人
が出席。
- 19日 尾瀬を守る会第2回会合(高橋(喬)出席)
環境庁や尾瀬保護財団に対して
(1) 適正入山者の規模を1日1万人ではなく1日5,000人に削減
する方策を検討すること
(2) 至仏山のハイカーにガイドを付けること。その暫定処置とし
て入山口での指導を徹底化すること
(3) 尾瀬ヶ原の乾燥化を食い止めるため、東電の尾瀬沼の水利権
の放棄を促進すること
の3点を4月下旬をめどに申し入れることを決定
- 19日 会計監査(島上、坂本)
24日 全修協と1998年度の指導員派遣で打ち合わせ(高橋(喬)、本戸)

尾瀬自然保護指導員ネットワーク
1998年度活動予定

- | | | |
|--|---|-------------------|
| 1) 燧岳残雪期利用(山スキー)実態調査 | 5/2 ~ 3 | (担当幹事 磯部) |
| 2) ブナ平立木調査(3 ~ 5年に1回) | 5/2 ~ 3 | (担当幹事 磯部) |
| 3) 至仏山東面登山道利用実態調査 | 7/17 ~ 18 | (担当幹事 永島) |
| 4) 会津バス添乗解説およびアイドリング調査・
アイドリングストップの呼び掛け | 6/5 ~ 7
6/26 ~ 28
7/10 ~ 12
7/18 ~ 20
9/25 ~ 27
10/2 ~ 4 | (担当幹事 磯部、
小野寺) |
| 5) 桐生市教育委員会事前学習への講師派遣 | 6月 ~ 10月 | (担当幹事 永島) |
| 6) 全修協研修旅行に指導員派遣 | 7月下旬 6班 | (担当幹事 本戸) |

【入山指導、調査活動などの参加者に宿泊費・交通費の一部を補助します】

(高橋 喬・若松 真)